

# SENKO REPORT

## 第95期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

- 1P 株主の皆さまへ
- 4P 中期経営計画への取り組み
- 5P 部門別の概況
- 7P 連結財務諸表
- 9P 会社概要
- 10P 株式情報



**SENKO**

証券コード 9069

# お客さまの復興支援に力を注ぐとともに、 中期経営三ヵ年計画の達成に邁進いたします。



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第95期中間期における

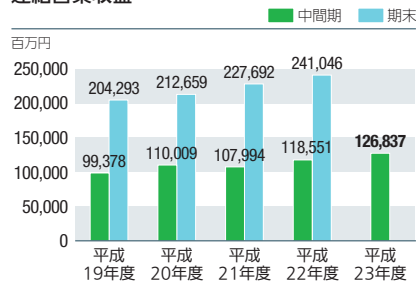
営業の概況と決算について、ご報告申し上げます。

## 積極経営とコスト改善により、 増収増益を達成いたしました

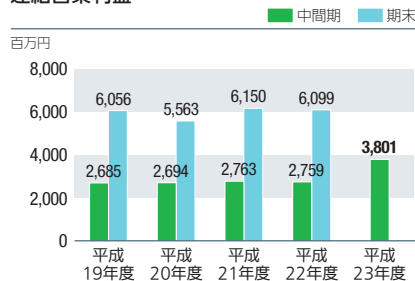
当第2四半期連結累計期間(中間期)における日本経済は、3月11日の東日本大震災発生直後に個人消費や生産活動などが大幅に低下しましたが、その後のサプライチェーンの回復、生産設備の復旧に伴い、景気は着実に回復しつつあります。しかしながら、円高の影響や電力不足問題、欧州の金融不安・米国の景気減速による世界景気の先行き不安などによる下振れ懸念もあります。

物流業界におきましては、震災直後に一時物量が落ち込んだものの、復旧に伴って物量は回復してきており

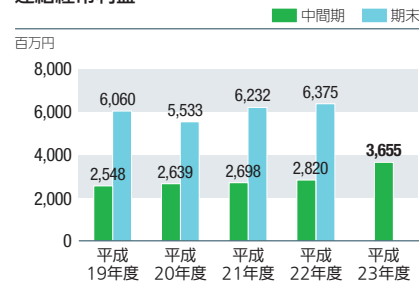
### 連結営業収益



### 連結営業利益



### 連結経常利益



ます。しかし、復興需要の発生時期が見通せないことや、円高による生産活動の低下などにより、今後再び物量減少が見込まれる厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、お客さまの震災復旧・復興対応のご支援を経営の最重点課題と位置づけるとともに、昨年度にスタートさせた「Moving Global」をコーポレートスローガンとする中期経営三ヵ年計画の2年目の年として、国内外で大型物流拠点を整備するなど、積極的な経営を進めてまいりました。

海外では、7月に米国ケンタッキー州に「ケンタッキー物流センター」を開設し、現地の大手小売会社の資材保管・配送のほか、現地に進出している日系企業の物流業務をスタートさせました。国内では、8月に大手総合スーパーの物流業務を手がける当社最大の物流センター「野田第1 PDセンター」を千葉県野田市に開設しました。また9月には、当社が現在力を注いでいる商事・貿易事業強化の一環として、包装資材・食品・酒類・生活雑貨の流通商社である「㈱スマイル」を子会社化いたしました。

当中間期の業績としましては、震災の復旧需要をは

じめ、災害関連商品や節電関連商品などの既存物量が増加したことや、新規顧客の積極開拓に取り組んだことにより、連結営業収益は1,268億37百万円(対前年同期比7.0%増)となりました。

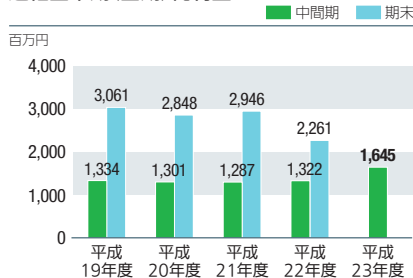
一方、利益面におきましては、燃料費の上昇などのマイナス要素があったものの、増収効果とコスト改善効果により、連結営業利益は38億1百万円(同37.7%増)、連結経常利益は36億55百万円(同29.6%増)、連結四半期純利益は16億45百万円(同24.5%増)となりました。

## 「65周年記念配当」を実施、 年間配当金を1株12円といたします

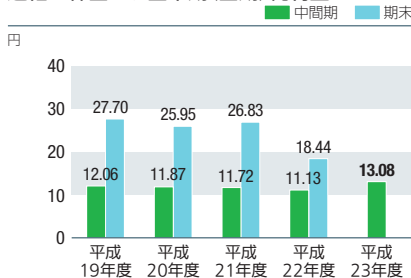
当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆さまへの利益還元を充実させるために、安定配当に加えて、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

当期につきましては、「創立65周年記念」として、1株

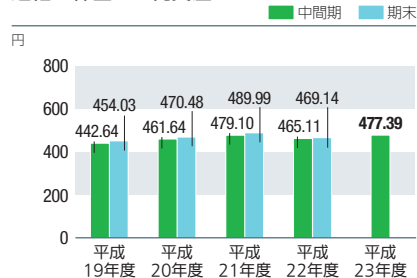
連結四半期(当期)純利益



連結一株当たり四半期(当期)純利益



連結一株当たり純資産



当たり年間2円(中間1円、期末1円)の記念配当を実施いたします。そのため、普通配当・記念配当を合わせた年間配当は、1株当たり12円(中間6円、期末6円)とさせていただきます予定です。

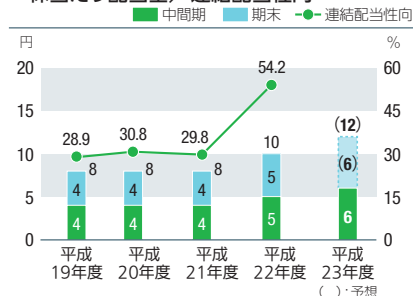
## 国内外において さらなる市場開拓に取り組んでまいります

今後の日本経済は緩やかな景気回復が続くと見られますが、円高や電力不足問題、欧州の金融不安・米国の景気減速による世界景気に対する不安など依然として予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、グループ総力を結集し、社会との共生を図り、従業員の成長志向を育む中、高品質でコストパフォーマンスの高いサービスを、グローバルに提供する、流通情報企業を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 一株当たり配当金／連結配当性向



### 免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

## Topics

### グループをあげ、震災復旧・復興を支援

当社グループは、震災直後から被災営業所の復旧作業に取り組み、震災によるお客さまの物流体制への影響を最小限に留めました。

また、東京都から支援物資輸送の委託を受けたほか、カザフスタン共和国から届いた支援物資の輸送、医療関連荷主さまの要請による病院向けの緊急支援物資の輸送を行うなど、物流事業者としての使命を果たし、関係者さまから感謝の言葉をいただきました。

特にハウスメーカーさまが政府の要請を受けて建設した仮設住宅につきましては、岩手、宮城、福島など東北向けに5,300戸を超える仮設住宅と関連資材を輸送いたしました。

当社グループは今後も、震災復興対応の支援を経営の最重点課題と位置づけ、取り組んでまいります。



カザフスタン共和国から届いた支援物資を被災地へ輸送しました



5,300戸を超える仮設住宅の資材輸送を担いました

中期経営計画の達成に向けた主な取り組みを紹介いたします。

海外マーケットへの進出

米国ケンタッキー州で現地企業向けサービスを開始

当社子会社のSENKO(U.S.A.)INC.は平成23年7月、米国ケンタッキー州ウィンチェスター工業団地内に物流センターを開設いたしました。同工業団地には多くの日系企業も進出しておりますが、物流企業が少なく、同社は団地内の現地企業、日系企業などに物流サービスを提供してまいります。

今回完成した物流センターは、米国の小売大手チェーン店さまが運営する工場向けに資材の保管・配送を行います。また、低温倉庫を備えており、日系化学品メーカーさま向けに低温物流サービスを提供いたします。

今後、同社では第2、第3の物流センター建設を計画しております。

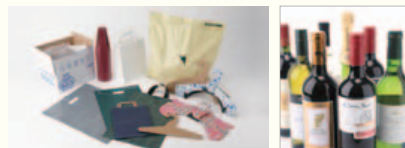


商事・貿易事業の拡大

流通商社の子会社化で商事・貿易事業を拡大

当社は平成23年9月、包装資材製造・販売や、食品・酒類・生活雑貨等の流通商社である㈱スマイル(東京都板橋区)を子会社化いたしました。今回のスマイル子会社化により、当社の持つ量販・小売業向けの物流ノウハウと、スマイルの持つ小売・外食・通販・精密機器などの業界への販売力を一体化させ、商品の企画・調達からエンドユーザー配送まで、海外を含めた商流・物流一体型のビジネスモデルを構築してまいります。

SMILE CORP.



環境への取り組み

「第12回物流環境大賞」で当社が大賞を受賞

当社は平成23年5月、「第12回物流環境大賞」(㈱日本物流団体連合会主催)で「物流環境大賞」を受賞いたしました。平成21年度に策定した「センコー Ecoイノベーション2012」にもとづき、使用電力削減をはじめとする省エネルギーやCO<sub>2</sub>削減活動などを行いました。今回の受賞は、1拠点で年間約20万kWhの電力使用削減などの成果だけではなく、当社の取り組みが他社への手本となると評価されたものです。当社は引き続き、エネルギー使用量の削減やCO<sub>2</sub>削減活動に取り組んでまいります。



当中間期の成果を部門別(セグメント別)に報告いたします。

## 部門別の事業収入

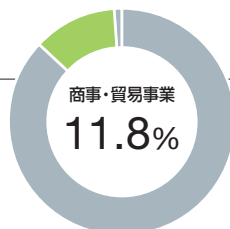
単位：億円

	前中間期	当中間期	増減率
物流事業	1,039	1,105	6.3%
商事・貿易事業	131	149	13.4%
その他事業	15	15	-2.2%
合計	1,186	1,268	7.0%

## 商事・貿易事業

石油販売、商事販売、貿易事業などの事業から構成される部門です。

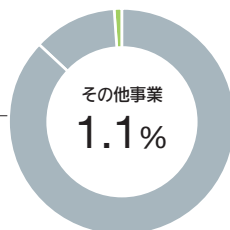
当中間期は石油価格の上昇による石油販売事業の伸長と、㈱丸藤の売上拡大、貿易事業の拡大により、事業収入は149億円と対前年同期比13.4%の増収となりました。



## その他事業

情報処理受託、自動車修理、保険代理業などの事業から構成される部門です。物流事業、商事・貿易事業の2部門に含まれない事業を主要サービスとしております。

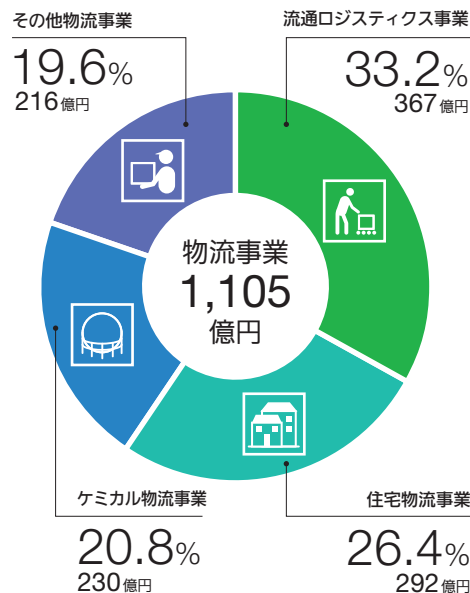
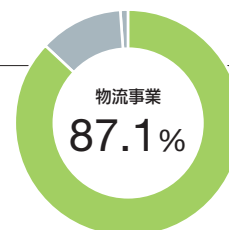
当中間期は情報処理事業の売上減少により、事業収入は15億円と対前年同期比2.2%の減収となりました。



## 物流事業

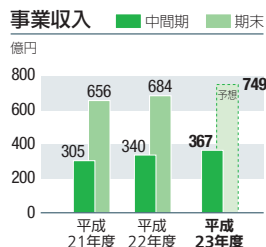
自動車運送事業のほか、鉄道利用運送、海上運送、国際運送、倉庫業、お客さまの構内における原材料および製品の包装・移動等の作業、物流センターの運営などの事業から構成される部門です。

当中間期は住宅物流事業においては仮設住宅などの震災復旧需要、流通ロジスティクス事業においては、復旧に関わる住関連商品や節電関連商品や暑さ軽減商品などの既存物量の増加、さらには新規顧客の積極的な開拓による売上拡大などがあり、事業収入は1,105億円と対前年同期比6.3%の増収となりました。





## 流通 ロジスティクス事業



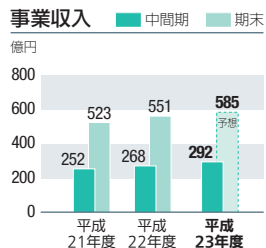
事業収入は**367億円**と対前期比**8.1%**の増収となりました。

量販店や百貨店、専門店など、小売店さま向けの物流サービスを行う事業です。

当中間期は量販店、小売店向け物流において、震災復旧に関わる住関連商品、災害関連商品や節電関連商品、暑さ対策商品の物量の増加などがあり、増収となりました。



## 住宅物流事業



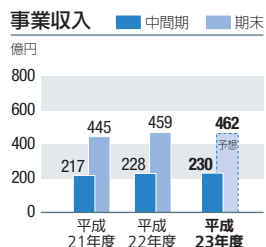
事業収入は**292億円**と対前期比**9.0%**の増収となりました。

住宅メーカーさまの製品を工場から建設現場へ輸送するサービスや、住宅資材メーカーさまの住宅資材の輸送などの物流サービスを行う事業です。

当中間期は仮設住宅の輸送や震災復旧に関する資材の輸送があったことなどにより、増収となりました。



## ケミカル物流事業



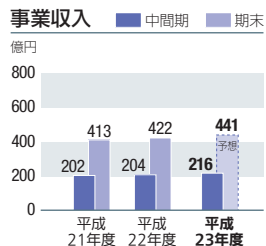
事業収入は**230億円**と対前期比**0.8%**の増収となりました。

プラスチックなどの原料となる樹脂やプラスチック成型品、加工品の輸送や、機械などに使われる潤滑油の輸送に関する物流サービスを行う事業です。

当中間期は震災による生産活動の落ち込みなどによる物量の減少はあったものの、積極的な拡販の効果があり、増収となりました。



## その他物流事業



事業収入は**216億円**と対前期比**5.9%**の増収となりました。

上記以外の物流サービス事業です。現在、当社グループが手掛けている代表的な物流サービスは、食品、電機・機械などの製品に関する物流、商社さまの商品の物流、引越サービスです。

当中間期は食品輸送や電機・機械輸送の分野で新規拡販を行ったことが寄与し、増収となりました。

四半期連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	前連結 会計年度末 (平成23年3月31日) 現在	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日) 現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,394	16,497
受取手形及び営業未収入金	31,147	36,932
商品及び製品	719	3,334
販売用不動産	15	10
仕掛品	104	194
原材料及び貯蔵品	176	166
その他	6,304	6,254
貸倒引当金	△29	△41
流動資産合計	52,833	63,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,962	40,875
土地	39,233	39,623
その他(純額)	10,508	11,451
有形固定資産合計	86,703	91,951
無形固定資産		
のれん	1,028	3,827
その他	3,358	3,482
無形固定資産合計	4,387	7,309
投資その他の資産		
差入保証金	8,719	8,720
繰延税金資産	4,969	4,570
その他	19,897	20,673
貸倒引当金	△226	△314
投資その他の資産合計	33,359	33,649
固定資産合計	124,450	132,910
資産合計	177,284	196,258

百万円未満は切り捨てて表示しています。

科 目	前連結 会計年度末 (平成23年3月31日) 現在	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日) 現在
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,603	29,524
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	4,900
短期借入金	16,545	23,289
未払法人税等	1,719	724
賞与引当金	2,853	3,483
役員賞与引当金	112	74
災害損失引当金	836	196
その他	9,251	10,097
流動負債合計	53,923	72,291
固定負債		
社債	7,000	7,000
転換社債型新株予約権付社債	4,900	—
長期借入金	32,331	37,162
退職給付引当金	9,724	9,499
役員退職慰労引当金	37	57
特別修繕引当金	39	42
資産除去債務	292	296
その他	8,431	8,131
固定負債合計	62,756	62,189
負債合計	116,679	134,480
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,521	20,521
資本剰余金	18,782	18,782
利益剰余金	20,806	21,823
自己株式	△1,046	△1,047
株主資本合計	59,063	60,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	14
繰延ヘッジ損益	△9	△3
為替換算調整勘定	△31	△28
その他の包括利益累計額合計	△38	△17
新株予約権	107	149
少数株主持分	1,472	1,567
純資産合計	60,604	61,778
負債純資産合計	177,284	196,258



## 四半期連結損益計算書

単位:百万円

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)
営業収益	118,551	<b>126,837</b>
営業原価	108,690	<b>115,782</b>
営業総利益	9,860	<b>11,055</b>
販売費及び一般管理費	7,100	<b>7,253</b>
営業利益	2,759	<b>3,801</b>
営業外収益		
受取利息	89	<b>92</b>
受取配当金	430	<b>430</b>
その他	353	<b>219</b>
営業外収益合計	874	<b>743</b>
営業外費用		
支払利息	580	<b>585</b>
その他	232	<b>302</b>
営業外費用合計	813	<b>888</b>
経常利益	2,820	<b>3,655</b>
特別損失		
固定資産売却損	—	<b>299</b>
特別退職金	74	<b>179</b>
固定資産除却損	147	<b>68</b>
リース解約損	22	<b>31</b>
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	130	—
特別損失合計	375	<b>578</b>
税金等調整前四半期純利益	2,445	<b>3,077</b>
法人税、住民税及び事業税	1,073	<b>518</b>
法人税等調整額	124	<b>981</b>
法人税等合計	1,198	<b>1,500</b>
少数株主損益調整前四半期純利益	1,247	<b>1,577</b>
少数株主損失(△)	△74	<b>△68</b>
四半期純利益	1,322	<b>1,645</b>

百万円未満は切り捨てて表示しています。

## 四半期連結包括利益計算書

単位:百万円

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,247	<b>1,577</b>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	<b>20</b>
繰延ヘッジ損益	8	<b>9</b>
為替換算調整勘定	0	<b>3</b>
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	<b>△0</b>
その他の包括利益合計	△69	<b>33</b>
四半期包括利益	1,177	<b>1,610</b>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,252	<b>1,667</b>
少数株主に係る四半期包括利益	△75	<b>△57</b>

百万円未満は切り捨てて表示しています。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,079	<b>4,266</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,649	<b>△11,229</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,616	<b>9,059</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	<b>6</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,973	<b>2,103</b>
現金及び現金同等物の期首残高	14,504	<b>14,394</b>
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	495	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,027	<b>16,497</b>

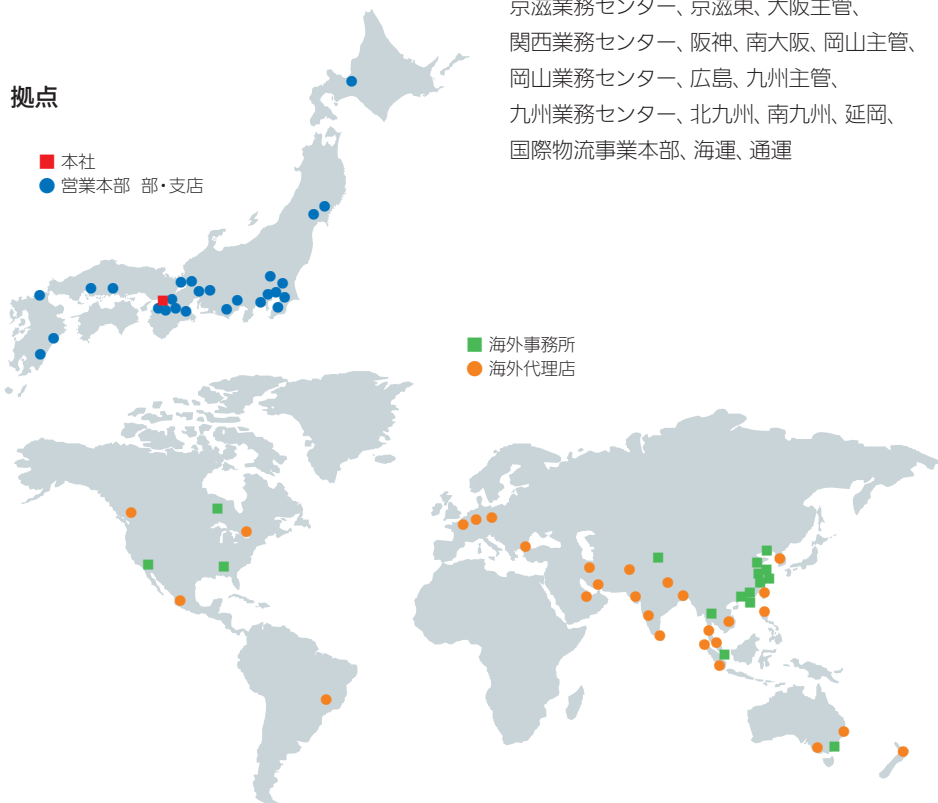
百万円未満は切り捨てて表示しています。

会社概要

(平成23年9月30日現在)

商号 センコー株式会社  
 資本金 20,521,133,751円  
 創業 大正5年9月  
 設立 昭和21年7月  
 本社 〒531-6115  
 大阪市北区大淀中一丁目1番30号  
 電話(06)6440-5155(代表)  
 事業所 216カ所  
 従業員 3,117名  
 貨物自動車 1,352両  
 所有船舶 10隻  
 倉庫 1,235,415m<sup>2</sup>

拠点



主要な事業所

(平成23年9月30日現在)

■ 営業本部

住宅物流営業本部  
 ケミカル物流営業本部  
 ロジスティクス営業本部

■ 部支店

札幌主管、札幌南、仙台主管、仙台北、  
 関東主管、関東業務センター、茨城、柏、  
 埼玉主管、埼玉北、埼玉南、東京主管、  
 南関東業務センター、東東京、神奈川、  
 千葉、静岡主管、静岡西、名古屋主管、  
 中部業務センター、小牧、三重、京滋主管、  
 京滋業務センター、京滋東、大阪主管、  
 関西業務センター、阪神、南大阪、岡山主管、  
 岡山業務センター、広島、九州主管、  
 九州業務センター、北九州、南九州、延岡、  
 国際物流事業本部、海運、通運

役員

(平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	福田 泰久
代表取締役副社長執行役員	藤森 正三
取締役専務執行役員	手塚 武與
取締役専務執行役員	高橋 久男
取締役専務執行役員	田中 増雄
取締役常務執行役員	田中 健悟
取締役常務執行役員	山中 一裕
取締役常務執行役員	寺町 博文
取締役執行役員	森本 康司
取締役執行役員	川瀬 由洋
取締役執行役員	尾池 和昭
取締役常勤監査役	飴野 仁子
取締役常勤監査役	遠山 泰
取締役常勤監査役	岡本 克美
取締役常勤監査役	辻 正和
取締役執行役員	松本 雄三
取締役執行役員	滋野 善夫
取締役執行役員	山本 隆志
取締役執行役員	白木 健一
取締役執行役員	宮津 純二
取締役執行役員	大迫 友行
取締役執行役員	米司 博
取締役執行役員	谷口 玲
取締役執行役員	多田 政美
取締役執行役員	佐々木 信郎
取締役執行役員	澤田 孝志
取締役執行役員	是沢 可人
取締役執行役員	室崎 行雄
取締役執行役員	鶴留 和治
取締役執行役員	伊藤 彰
取締役執行役員	瑠璃垣 潔

## 子会社等

(平成23年9月30日現在)

- センコー商事株式会社
- 株式会社スマイル
- 株式会社丸藤
- 株式会社センコー保険サービス
- センコー情報システム株式会社
- ロジ・ソリューション株式会社
- 株式会社センコー引越プラザ
- センコーエーラインアマノ株式会社
- 東京納品代行株式会社
- イマイ運送株式会社
- 札幌センコー運輸株式会社
- 東北センコー運輸株式会社
- 関東センコー運輸株式会社
- 埼玉センコー運輸整備株式会社
- センコー住宅物流株式会社
- 千葉センコー運輸整備株式会社
- センコーファッション物流株式会社
- 柏センコー運輸株式会社  
野田センコーロジサービス株式会社
- 神奈川センコー運輸株式会社
- 北陸センコー運輸株式会社
- 富士センコー運輸株式会社
- 大東センコーアポロ株式会社
- 東海センコー運輸株式会社
- 豊橋センコー運輸株式会社
- 三重センコーロジ株式会社
- 滋賀センコー運輸整備株式会社
- 大阪センコー運輸整備株式会社
- 東京納品代行西日本株式会社
- 南大阪センコー運輸整備株式会社
- 阪神センコー運輸株式会社
- 江坂運輸株式会社
- 阪神運送株式会社
- 奈良センコー物流株式会社
- 岡山センコー運輸株式会社
- 三協貨物株式会社
- 山陽センコー運輸株式会社
- 中四国ロジスティクス株式会社
- 株式会社四国冷凍運輸倉庫
- 福岡センコー運輸株式会社
- 南九州センコー株式会社
- 宮崎センコー運輸整備株式会社
- 宮崎センコーアポロ株式会社
- センコーフーズ株式会社  
株式会社クレフィール湖東
- S-TAFF株式会社  
センコービジネスサポート株式会社
- ロジファクタリング株式会社
- センコーメディカルロジスティクス株式会社  
株式会社センコースクールファーム鳥取
- 富士ラベル株式会社  
Senko Logistics (USA) Inc.  
Senko (USA) Inc.
- 大連三興物流有限公司  
扇興物流(上海)有限公司
- 上海扇興国際貨運有限公司
- 上海斯美樂貿易有限公司
- 広州扇興物流有限公司
- Senko International Logistics (Hong Kong) Ltd.  
青島雪興国際物流有限公司
- Senko(Thailand) Co., Ltd.
- Senko International Logistics Pte. Ltd.
- Senko Logistics Australia Pty Ltd
- Senko-Lancaster Silk Road Logistics LLP
- Japan Select LLP

(注) ○は連結子会社を示しております。

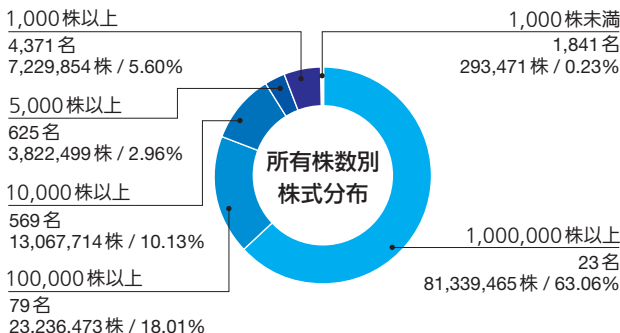
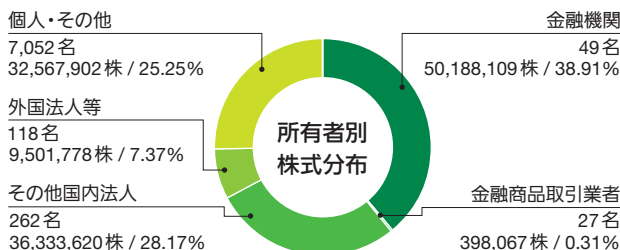
## 株式情報

### Stock Information

## 株式の状況

(平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数 294,999,000株  
発行済株式総数 128,989,476株  
株主総数 7,508名



## 大株主(上位10位)

(平成23年9月30日現在)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	18,769,000	14.55
旭化成株式会社	10,676,726	8.28
センコーグループ従業員持株会	7,648,743	5.93
積水化学工業株式会社	6,785,900	5.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,898,000	3.80
東京海上日動火災保険株式会社	4,439,170	3.44
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,252,000	3.30
エイアイジー・スター生命保険株式会社	3,200,000	2.48
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	3,169,655	2.46
いすゞ自動車株式会社	2,939,689	2.28

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.senko.co.jp/">http://www.senko.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## “くらしのステキ”をお届けする センコーの「夢トラック」



センコー商事(株)では、皆さまがご自宅や職場に  
いながら、お手軽にお買い物をしていただけるよう、  
オンラインショップ「夢トラック」をオープンして  
おります。

全国各地の旬の特産品やお取り寄せスイーツ、  
センコー商事(株)オリジナルのお惣菜など、「夢  
トラック」のバイヤーが全国の“うまい”情報を  
キャッチし、自信を持っておすすめするショップです。

お中元やお歳暮などのギフトはもちろん、ご家族の  
団欒やご友人との集いの場で、是非、ご利用ください。

### 商品例



夢トラック web shop <http://www.yume-truck.com>